

平成28年2月17日  
四国電力株式会社

### 西条発電所2号機の復旧見通しについて

西条発電所2号機（定格出力25万kW）については、通常運転中のところ、蒸気タービン軸受の振動が急増したことから、2月15日2時28分に運転を停止いたしました。（2月15日お知らせ済）

その後、運転状況を分析した結果、原因は軸受内の潤滑油の不安定さにより、タービン軸の振れが大きくなるオイルホイップという現象によるものと判断いたしました。

同機については、今月27日から定期点検を予定（平成28年2月27日～5月23日）しておりましたが、このたびの運転停止に伴い、同点検を昨日16日から前倒しして実施しており、タービン軸受についても、その中で対策を講じることといたします。

当社といたしましては、引き続き、高稼働が続く火力発電所の点検・保守に細心の注意を払い、対策に万全を期すことで、電力の安全・安定供給に努めてまいります。

以上

#### （参考1）西条発電所の概要

	出力(万kW)	運転開始年月	備考
1号機	15.6	昭和40年11月	運転中
2号機	25.0	昭和45年6月	定期点検中

#### （参考2）蒸気タービン概略図

